

市 北方町

人と人、心と心がつながるまちへ



北方町長 室戸英夫

北方町は明治22年7月1日に町制が施行された古い歴史の町であります。早くからインフラ整備に取り組み、町域の63%超が土地区画整理事業などによる面整備が進んだ結果、今日では上下水道は100%の整備となった事を始め、道路、公園、学校などの教育施設から社会福祉施設に至るまで生活基盤の充実に努めてきました。

その甲斐あって、少子高齢化の時代、県下の多くの自治体が人口減の傾向の中、人口数と増加率で其々5位、3位の位置にあるなど近代都市として発展を続けています。

当町では現在「住民参加の草の根民主主義」のスローガンのもと「参加で育てる町づくり」に取り組み、公募による政策審議会や、住民対話集会、予算編成時の住民アンケート集約など直接民主主義の手法で住民と行政が意見をぶつけ合いながら町づくりに取り組んでいます。そして「住民の声を行政に反映する」という行政の責任と共に「もの言う住民も負担を共有し、責任を持つ」、つまり、「協働」の思想を共有することを目指しています。

こうした取り組みを通し、暮らしの中で、自分たちが努力し解決する分野、コミュニティで



北方町生涯学習センターきらり

協力し自主的に解決する分野、公的に参加と負担をとおして解決する分野というように環境を整えて、従来の「権利と要求」の社会から「自治と連帯」の社会へとワンステージアップした北方町を目指しています。